

平成 21 年 5 月 22 日

各 位 様

社団法人日本トンネル技術協会  
技術委員会都市トンネル小委員会  
委員長 児 玉 一 大

### シールド工事に係る格言（シールド工事における留意点）のご提案依頼

拝啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から委員会活動にご協力頂き有難うございます。

さて、当委員会では、シールド工法における技術の伝承に貢献させることを目的に、若手後継者に伝えたいシールド工事に係る調査・計画・設計・施工における留意点を格言集として取りまとめることといたしました。

つきましては、下記事項ご一読、ご了承のうえ、多数ご提案くださいますようお願いいたします。敬具

#### 記

【提案期限】平成 21 年 6 月 30 日火曜日まで

【対 象】ご提案依頼の趣旨に沿う若手後継者に伝えたいシールド工事に係る調査・計画・設計・施工における留意点、所属の業種に拘らずご提案願います。

【作成要領】1 人でいくつでも結構です。別紙参照願います。

#### 【提案格言の取扱い】

ご提案頂いた格言については、当委員会で編集し、広く活用して頂くため何らかの形で広報させていただきます。その際、個々の格言にご提案者の名前は記載いたしませんので、ご了解のうえご提案願います。

【著 作 権】編集された格言の著作権は、社団法人日本トンネル技術協会に委ねるとします。

【提出先・問合せ先】エクセル等、加工できる電子データとし下記にメールで送信願います。

E-メールアドレス [katsu-tanaka@japan-tunnel.org](mailto:katsu-tanaka@japan-tunnel.org)

社団法人日本トンネル技術協会：田中勝雄

〒104-0041 中央区新富 2-14-7 新光第一ビル TEL03-3553-6174、FAX03-3553-6145

【そ の 他】同ご提案依頼は、協会ホームページ <http://www.japan-tunnel.org/> にも掲載しております。

## 【作成要領】

下記記入内容と説明および記入例をご参照のうえ、電子データで送信願います。なお、複数ご提案の場合は、添付の[エクセルファイル](#)をご利用願います。

## (1) 記入内容と説明

## 【連絡先】※1

氏名	
所属会社名	
部署・役職	
電話番号	
メールアドレス	

## 【格言】

No.	格言※2	解説※3	格言の区分※4	
			大分類	小分類 キーワード
1				

※1 提出者の連絡先の情報を記入願います。なお、会社やグループでまとめてご提出して頂く場合は、代表者の連絡先をご記入願います。

※2 わかりやすく簡単に記載願います。

※3 格言を理解して頂くための解説を簡潔に記載願います。なお、格言のみで解説不要と考えられる場合は不要ですが、その際は、記入欄に「-」を付して下さい。

※4 格言区分欄(大分類, 小分類-キーワード-)から選択のうえ、記載願います。

《格言の区分》

＜大分類＞

A.全般、B.調査、C.計画、D.設計、E.施工・施工管理、F.その他

＜小分類-キーワード-＞

1.線形、2.トンネル内空、3.シールド機・設備、4.立坑築造工、5.発進・到達工、6.掘進、7. 一次覆工、8.裏込め注入、9.防水工、10.二次覆工、11.掘削工（泥水式）、12.掘削工（土圧式）、13.測量工、14.工程、15.安全衛生、16.環境保全、17.その他（ ）

## (2) 記入例

### - 記入例 1 -

#### 【連絡先】

氏名	トンネル A 太郎
所属会社名	トンネル B 施工会社
部署・役職	トンネル◎○工事事務所長
電話番号	〇×-△〇〇△-△〇〇△
メールアドレス	AbcB@adbcr. co. jp

#### 【格言】

No.	格言	解説	格言の区分	
			大分類	小分類 キーワード
1	教科書に頼りすぎるな、その設計	現地状況の把握や施工手順の検討が無く、示方書や計算ソフトに頼りっぱなしの設計は、実際の条件に合致せず施工できないものがあるため、設計時点で十分な検討が必要である	D	—

### - 記入例 2 -

#### 【連絡先】

氏名	トンネル B 太郎
所属会社名	トンネル A 施工会社
部署・役職	トンネル◎○部長
電話番号	〇×-△〇〇△-△〇〇△
メールアドレス	AbcA@adbcr. co. jp

#### 【格言】

No.	格言	解説	格言の区分	
			大分類	小分類 キーワード
1	裏注し過ぎは山を乱す	軟弱地盤で裏込め注入しすぎると地盤を逆に乱すことになり、継続的なクリープ沈下を引き起こす要因となるため注意が必要である	E	8